



# 善心

令和8年5月15日(金)

生徒指導だより

生徒指導主任 No.6

## 1人1人が主役

新年度がスタートして1か月が経過しました。授業が始まり、学級組織が決定し、人間関係が構築され…少しずつ学校生活も軌道に乗ってきたと思います。3年生は昨日まで修学旅行へ行ってきました。様々な経験や思い出をお土産に持ち帰ってきたはずです。いつまでもかけがえのない財産として、自分の中に大切に保管してください。

そして、2週間後には体育祭が予定されています。放課後、各学年のフロアを回っていると学級旗の制作に取り組んでいる様子を多く目にしています。今からどのような学級旗が完成するのか楽しみであるのと同時に、1人ひとりが役割や仕事を全うしながら準備してほしいと思います。

### イソップ物語【アリとキリギリス】

ある夏の日、キリギリスは得意なバイオリンを弾きながら、歌を歌って楽しく生活していました。そこへ、一生懸命に食料を運ぶアリの行列が通りかかりました。不思議に思ったキリギリスはアリたちに尋ねました。「何をしているの？」すると、アリたちはこう答えました。「冬が来る前に食べ物を集めているのだよ。」それを聞いたキリギリスは、「夏の間は楽しく歌って過ごせばいいのに。」とアリたちのことをあざ笑いました。

やがて、秋が来て森の虫たちも減って寂しくなり、とうとう冬がやってきました。冬になり、食べ物がなくて困ったキリギリスは、夏に食料を集めていたアリたちがいたことを思い出し、アリたちを訪ねました。お腹を空かせたキリギリスは、アリたちに食べ物を分けてほしいと頼みます。アリたちは、「どうぞ、食べてください。その代わりにバイオリンを聴かせてください。」と言い、食料を分け与えました。キリギリスは涙を流して、感謝をし、翌年の夏は真面目に働くようになりました。

将来のことを考えて、努力することの大切さや困った人を助ける優しい心、そしてその優しさが相手を変えることもあるということ伝えてくれているような気がします。

人によって感じ方は色々だと思いますが、集団としての動きを維持するためには

**【集団全員の力が必要であること＝1人1人がかけがえのない存在である】**

ということになるのではないのでしょうか。

集団社会(生活)を形成する中で

1人1人がその役割を果たしながら生活してほしいと思います！